

「まほうのかいわ」を確認しましょう

後期が始まりましたので、毎年4月にご紹介している「まほうのかいわ」（札幌市教育委員会「さっぽろっ子『学び』」のスズメより）を再度確認していただきたいと思ひます（裏面もご覧ください）。



日常生活の何気ない場面でお子さんの頑張りが見られたときが、「まほうのかいわ」のチャンスです。

良かったところを具体的に褒めてあげることで、お子さんの自己肯定感が高まり、自信をもつことができるようになります。

＜例＞

- ・ 自分から進んで家庭学習ができたとき
- ・ 身支度や部屋の片づけなどができたとき
- ・ 自分から「ありがとう」が言えたとき
- ・ 約束を守れたとき
- ・ 友達に優しくできたとき
- …など

困っているときや悩んでいるとき、家族のアドバイスがお子さんには大きな支えになります。「この次は～してみようね。」
「こういう方法もあるよ。」「一緒にやってみようね。」などの「まほうのかいわ」が、お子さんへの心強いサポートになります。

＜例＞

- ・ 友達関係で悩んでいるとき
- ・ 心や体の成長で気になることがあるとき
- ・ 宿題や家庭学習で分からない問題があるとき
- …など

この他、登下校や放課後の遊びなどで、お子さんが困っているときも、まずは、家族のアドバイスや励ましが効果的です。



～ 登下校・放課後の過ごし方について ～

【登下校について】

- ・ 登校時刻（8：15～8：25）を意識する。
- ・ 交通安全に気を付ける。
- ・ 行き帰りに寄り道をしない。
- ・ “いかのおすし”を守る。 …など



【放課後の過ごし方】

- ・ 家に帰る時刻（10月午後5：00）を守る。また、お家の人に行き先を伝える。
- ・ 公園の遊び方や約束を守る。
- ・ 用事がないのにお店に入らない。
- ・ 友達におごったり、おごってもらったりしない。 …など

学校でも継続して指導していきますが、ご家庭でも下記についても話題にし、お子さんとぜひ一緒に取り組んでいただきたいです。

さっぽろっ子「学び」のススメ

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。
学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める
共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

さっぽろっ子「学び」のススメは、
子どもと家庭、子どもと学校、学校
と家庭をつなぐとともに、子どもの
権利を大切にすることです。

学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり



SAPP
RO

札幌市教育委員会

【さっぽろっ子
「学び」のススメ】



【さっぽろっ子
ICT活用のススメ】



【さっぽろっ子小中一貫
した教育のススメ】

まほうのかいわを合言葉に「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくり！

